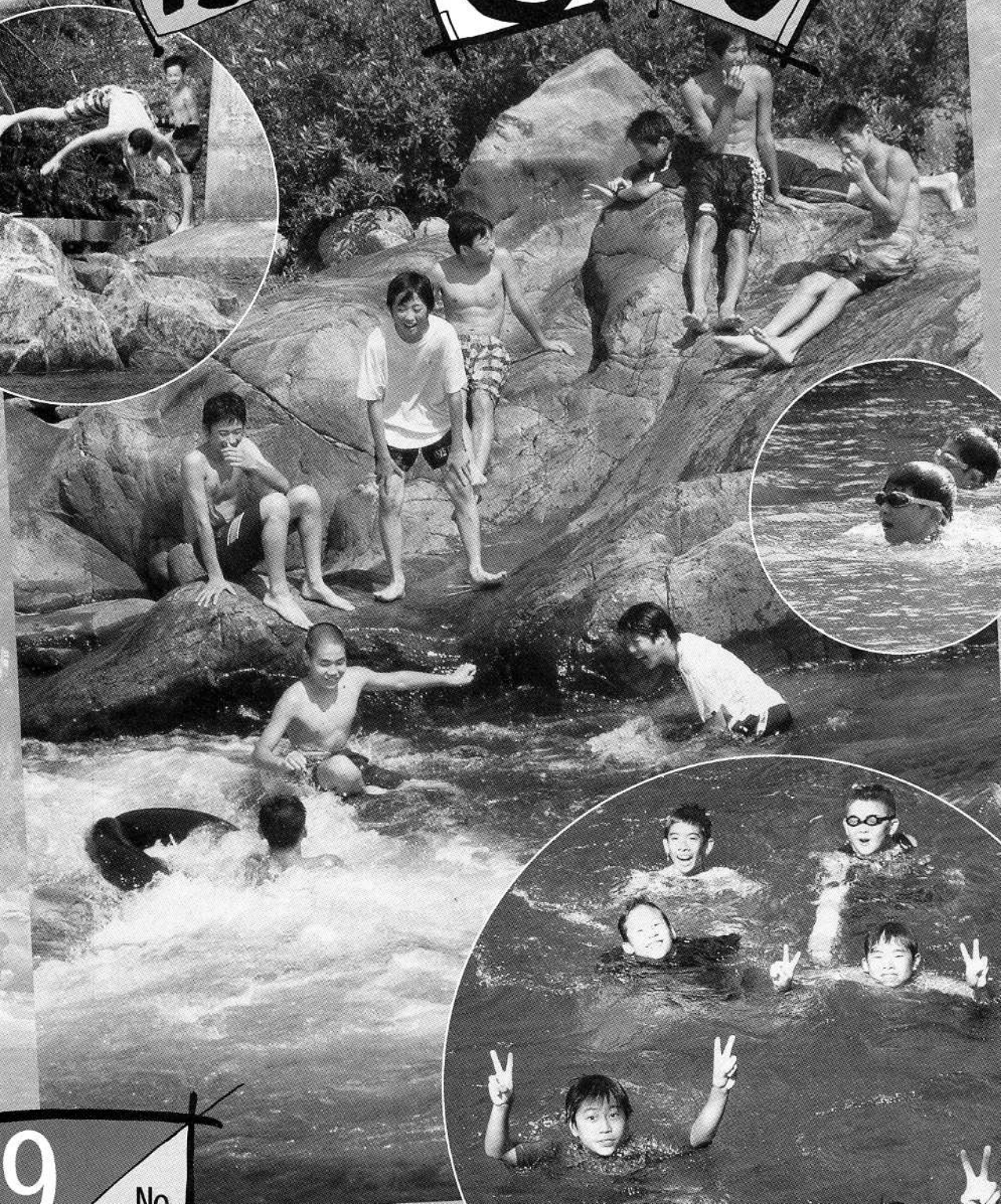


広報

ひかしらがわ



9

No.

507

2003

夏。河童現る!?

今年も、たくさんの“河童たち”が村内の川に姿を現し、賑わいをみせていました。

地震発生

どうする？

写真で見る 情報伝達経路

越原曲坂地区をモデルに、
その経路を紹介します。

一時待避所に班で集まります



班長から自主防災会長へ
有線電話で人員を報告



一時待避所から集会所に向け
徒歩で移動する皆さん



自主防災会長から
消防コミュニティセンターへ
被災状況、人員などを報告



地域集会所に人々が集まります



集会所に着き、
被災状況報告書を記入するみなさん

千六百三十人動員の防災訓練
八月三十一日、村内全域で「平成十五年度東白川村総合防災訓練」が実施され、総勢千六百三十人が参加しました。これは、昨年において二回目の試みとなる大規模な

防災訓練で、昨年は、国、県に連動し、観測情報、判定会召集、警戒宣言の予知情報に対応した訓練を柱に、初期消火、避難誘導などの訓練を実施。本年は、予知情報なしに突如大規模地震の発生したことを受けて村・地域・学校などが、いかに早く正確な情報を集約し、臨機応変な対応ができるかを重点として訓練を実施しました。

ねらいは「情報伝達」

『情報伝達の時間と正確性を検証』これが、今回の訓練の一番の、

各自主防災会でも訓練開催

当日は、村内の各自主防災会でも有事に備えるための訓練が実施されました。

訓練内容は地域によって様々で、手作り担架の講習会や、消火器の取扱い訓練、地元消防団員の指導による消火栓からの放水訓練など、実践でも活用できる訓練が行われました。一方、防災意識の高揚をねらった訓練を計画する地域もあり、防災に

ねらいです。昨年の防災訓練から、各地域の自主防災会のまとまりや実行力は立証済みですが、村民一人ひとりの確実な安全確認や村全体の被災状況の把握については、一定のルールが決められておらず、有事の際の対応や通信網への負荷など強化すべき点があったことは否めません。

自立した防災体制へ

そこで今回は、各自主防災会の協力により、次のような情報伝達経路を決めての訓練を実施しました。①各自主防災会を更に小さな“班”に分けて一時待避所に集め、班長が人数や各種被害について自主防災会長へ報告する。②自主防災会長が班の報告を取りまとめ、各区（神土・越原・五加の消防コミュニティセンター）へ報告する。③各消防コミュニティセンターに待機する消防団員が区内の報告を取りまとめ、役場対策本部へ報告する。④対策本部では、寄せられた情報を元に、対応方針の協議をし、建設班と福祉班に分かれた役場職員が状況調査や復旧手配の

消防コミュニティセンターを基地とし、各集落からの情報を取りまとめる消防団員



被災状況を地図にまとめ、対応策を検討する対策本部



指示をする。

このように情報伝達の経路にルールを作ることで、情報の混乱や無線通信の混線を防げるという利点が生れます。一方、階層の多い伝達方法となるため、取りまとめに時間がかかったり、多くの人の協力が必要になるという不利な面があるのも事実。しかしながら、自主防災会や消防団が要となる本連絡体制には、将来に向けた

取りまとめられた各集落の被災情報などは一括して対策本部へ報告



集まった情報を解析する対策本部のようす



“自立した防災体制”という利点も含まれており、その有効性を否定することはできません。また、今回の訓練結果を基に、更なる研究を進めていきます。訓練にご参加いただき、ありがとうございました。

▼消防署職員に消火栓の取扱い方を習う黒瀬地区の皆さん



▲緊急下校で、バスに乗る児童らと人数を確認する教諭

関するビデオの視聴や、消火栓ボックス内のホースを延ばし、その位置と距離の確認なども行われました。また、今回の訓練は、村内小中学校の協力も得ており、避難訓練と緊急下校訓練が同調して実施されました。

海外研修 アルバム

フォト

in オーストラリア
2003/8/18~8/24



オペラハウスをバックに記念撮影



見上げるとそこには何が?



念願のシドニーに到着



皆ニッコリ。市内観光中の4人組



今、シドニーは冬。寒いです



海!!男だったら入りましょう



作戦会議中!木正に挑戦



女の子に囲まれて...し・あ・わ・せ



お名前を教えてくださいかな?



ベンチに座っておしゃべりタイム



テレビッロに大人気の東中生徒



遊びを通して、すっかり仲良し♪



さあ食べて☆カンガルーに大接近



やったね!初めての乗馬体験



まだ眠い?朝に弱い東中生徒たち

平成15年度 中学校 総合体育大会等 参加結果

■加茂郡大会

【剣道】個人(3年の部)・・・8位/安江基 【バスケットボール】・・・3位

【テニス】団体戦・・・3位、個人戦・・・ベスト8/安江温美・安江智愛(3年) 【バレーボール】・・・6位

■地区大会

【剣道】団体戦・・・4位、個人戦(1年の部)・・・ベスト8/小池一樹 【吹奏楽部】東濃可茂地区大会(小編成の部)・・・銅賞 【陸上】1年男子100m・・・2位/今井恭兵、低学年男子400m R・・・4位/三戸拓実・今井恭兵・桂川智宏・渡辺勇介



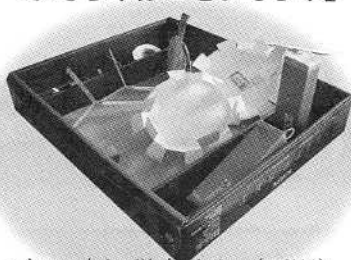
夏の思い出・作品展

「まよいみち」



1年＝瀧下裕愛さん（神付）

「おもちゃばことおもちゃ」



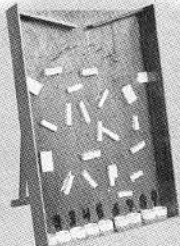
1年＝安江謙太くん（下野）

「うさぎの
ちょきんばこ」



2年＝今井蛋さん（平）

「ビー玉めいろ」



3年＝今井翼くん（大沢）

「夏物語」



3年＝安江くるみさん（神付）

「パタパタ
ちょきんばこ」



2年＝伊佐治輝生くん（中通）

「いすとつくえ」



4年＝安江純樹くん（下親田）

「お茶犬」



4年＝安江志貴さん（日向）

「アニマル海賊船」



5年＝田口絵梨さん（平）

「一生懸命泳ぐ私」



6年＝安江真央さん（日向）

「CD立て」



6年＝磯村元希くん（陰地）

「自然ロボット」



5年＝古田友大くん（上親田）

「テーブルセット」



1年＝安江栄策くん（大明神）

「書道」



2年＝今井加那子さん（大沢）

「棚」



3年＝安江隼人くん（中通）

「クッション」



1年＝大坪愛美さん（陰地）

「パソコンの机」



2年＝安江智広くん（黒淵）

「絵」



3年＝安江珠美さん（上親田）

東白川小学校

東白川中学校



できごとと事情

母の苦労を痛感。親子で料理に挑戦

梅ご飯、皮なしソーセージ、ニョッキのクリームシチュー、ミルク安倍川もち。この四品目を親子で作る「親子料理教室」が八月五日、東白川村食生活改善推進協議会の主催で、はなのき別館を会場に開かれました。これは、本協議会の研修会として行われたもので、村内から六組の親子ら十九人が参加し、親子の協力で料理作りがスタート。ジャガイモの皮むきに始まり、野菜を切ったり、ゆでたりして次々と料理を完成させていきました。母親と料理をする子どもからは「作ったことのない料理だから難しい」「いつも、お母さんがどんなことしてるのか、その苦労がわかったような気がする」と、料理を作ることの面白さや大変さを感じたようです。



調理中は真剣そのもの。ソーセージを作る親子たち

夢への一步。インターン実習に奮闘

八月七日から十日までの間、本村でも一つの実習が行われました。その学生は、加茂農林高校に通う流通科学科二年生の今井里衣子さん(神付)で、本人の希望から、道の駅を管理する(有)新世紀工房がその研修先。今井さんは、限られた研修期間の中で、煎茶の袋詰め作業など出荷製品の下準備や、道の駅(茶の里会館)来場者への接客などを体験し、「将来、販売関係の仕事に就きたい」と思っているのだ、今回の経験は、自分にプラスになると思います」と、自らの進路に向け、ヒントを得た一夏となったようです。

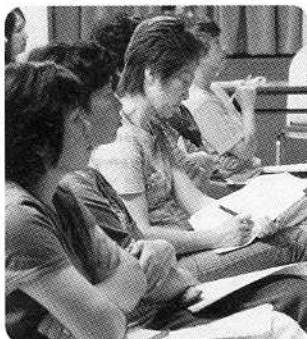


来場者にお茶を出す今井さん(左)

近年、多くの学校で授業の一環として行われているインターンシップ実習。これは、在学中に一定期間、就業体験をすることによって社会の実情を知り、就業に対する興味・関心を高めるためのもので、

自らが実践。浄化槽管理講習会を開催

熱心に説明を聞く出席者たち



熱心に説明を聞く出席者たち

八月二十七日、東白川村環境衛生組合と村が主催する新規浄化槽設置者利用講習会が、はなのき別館で行われました。これは、平成十三年度から今年度途中までに、新規に浄化槽を設置された九十三世帯を対象としたもので、今回は、そのうち五十九人が参加。会では、(財)岐阜県環境衛生管理技術センターの村居勘二氏が、トイレ、浴槽、洗濯、台所の四つのテーマごとに、浄化槽を使用していく上での注意点などをスライドを使って説明。参加者からは「油の始末なんかは気をつけてるけど、トイレの紙とか風呂水に関しては…。以後気をつけたい」と「浄化槽のためにも環境のためにも、まずは自分が実践しない」との声もあり、意義ある講習会となったようです。



取扱いの説明をする村居さん

八月二十七日、東白川村環境衛生組合と村が主催する新規浄化槽設置者利用講習会が、はなのき別館で行われました。これは、平成十三年度から今年度途中までに、新規に浄化槽を設置された九十三世帯を対象としたもので、今回は、そのうち五十九人が参加。

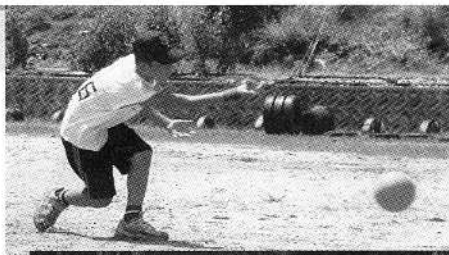
の村のつす

夏、遊べ。ふれあい大会開催

これは、子ども会員である村内の小学生とその関係者を対象に、低学年と高学年の二部門で行われる子ども会行事の一つで、毎年この時期に開催されているもの。

当日、体育館では、小学三年生までの子どもたちを対象とした「低学年研修」が行われ、地元高校生と一緒に、不審者に対する勉強会やレクリエーションゲームを楽しんでいました。一方、運動場では、小学四年生から中学生までの子どもたちによる地区対抗の「キックベース大会」が行われ、終始白熱した試合が繰り広げられました。

また、今年度は「日向・曲坂チーム」が優勝を果たしました。

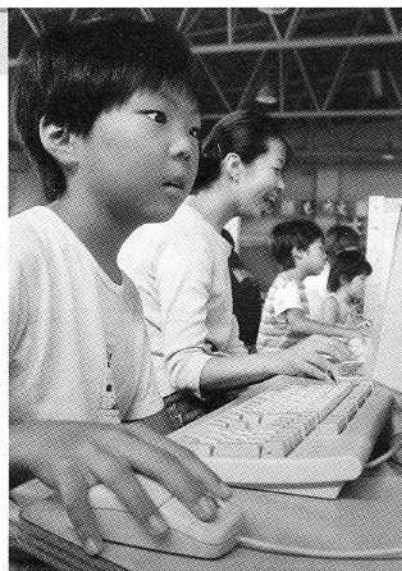


◀白熱した試合を展開する子どもたち

親子で挑戦！パソコン操作に四苦八苦

夏休み後半にさしかかった八月十七日、東白川小学校で『夏休み親子パソコン教室』が開催され、十六組の親子が参加しました。

本教室は、村の庁内LAN整備事業の一環として、夏休み期間中に同校にパソコンが導入されたことで、以前から要望のあった「パソコン教室」が実現されたもの。参加者らは、講師の説明を聞きながらマウスやキーボードを操作して、画面上で絵を描いたり、タイピングゲームを楽しんだりしました。会場では「子どもに誘われて参加しました。家にもパソコンはあるんですが、私はまるで使えなくて…。でも、今日はいろいろ勉強になったし、家でも挑戦してみます」との声もあり、その評判は上々のようです。



◀マウスを操作し、「お絵描き」体験をする親子たち

東中学生徒26人が“高齢者”を疑似体験

生二十六人が参加しました。

これは、障害を持つ方や高齢の方など様々な立場の人たちについて理解を深め、相互の助け合いの精神を学ぶことを目的として、毎年この時期に実施されているもので、今年で十二回目の開催。参加者らは『「高齢者」を疑似体験しよう』とのテーマで、体の間接部などに拘束具を付けた状態で歩行したり、車いすに乗って坂道や段差を乗り越えたりして、その苦労や大変さを学んでいました。

また、スクール後の参加者からは「（高齢者疑似体験では）思ってた以上に体が動かないことに驚いた」「上り坂や芝生の上で車いすを押すのって、想像以上に重くて大変だった」との声がありました。



◀車いすを押して散歩に出かける参加者たち

八月二十五日、村社会福祉協議会が主催するボランティア・スクールの、はなのき別館で開催され、村内の中学



『思い出の場所、東白川村』

元東白川村英語指導助手
ジャスティン ダート

東白川での3年間を振り返ってみて、心に残る思い出が沢山できました。

白川に沿って延びる緑豊かな谷、小学校でそり滑りを楽しむ子供たちの笑い声、帰りの会から聞こえてくる中学生の楽しそうな天使の様な声。

私の日本での経験は私を受け入れてくれた人々、村の伝統、生活と強く結びついていきます。他のALTの話の聞くと「私はなんて幸運なんだろう」と思います。先生や父兄と築いた関係だけではなく、生徒との関係がここでの経験をより良いものにしてくれました。

初めて東白川に来た時私は村の美しい自然に圧倒されました。山や茶畑を眺めて全てを吸収しようと思いました。授業最後の日も私は山を眺め、もう見られないかと思うと寂しくなりました。

生徒と過ごした貴重な時間は私にとって掛替えのないものでした。音楽室に行き生徒と一緒にドラムやギターを弾き楽しい時間を過ごしました。子供たちが小学生から中学生へと成長する姿を見られた事は素晴らしい経験でした。生徒一人一人が自分の夢を達成できることを願っています。きっと出来ます。そして自分たちが望むことはきっと実現できます。

村の人々はとても優しく、私は素晴らしい時間を一緒に過ごすことが出来ました。どこへ行ってもみんなが歓迎してくれました。

皆さんと一緒に仕事が出来たこと、このような経験と機会を与えてくれたことに感謝しています。ここでの思い出は忘れません。有り難うございました。

ジャスティン ダート



▲子ども会のキックベース大会で優勝した日向・曲坂チーム



▲7月13日に行われた第4回可茂郡スポーツ少年団交流大会で、見事優勝を果たした“ジュニア・バレー”5年生チーム



▲8月中旬、今年も5ヶ国から12人の青年らが国際ボランティアとして来村し、村有林の整備などに汗を流しました。

いかっせや

…みんなの広場…

仲間あつまみ



さちやかさん

脇方誠二さん
(神土中通・24歳)
村雲建設 勤務

※「大工になりたいと就職したのが、この村でした。住みやすいところです」と話してくれる若者を紹介します

●趣味

ソフトバレー、サッカー、フットサル、野球…。スポーツならなんでも

●特技

人を笑わせること

●好きなもの

人が好き

●将来の夢

親方みたいな大工に！

●好きな異性のタイプ

やさしい人

●結婚について

そのうち…時期が来たら

わが家のスリッパ
満1歳



しゅんすけ
神戸 駿輔ちゃん
(正紀さん・美幸さん＝平)

このコーナーの子どもたちはみな同い年。10年後、20年後「広報」を見ればホラ！1歳のあの子の顔が…

戸籍の窓

(8月1日～
8月31日)

●誕生おめでとうございます

村雲	こころ	久哲	(柏本)
		佑紀	
島倉	えいと	大輔	(西洞)
		章恵	
田口	きょうた	清隆	(平)
		あず沙	

●おくやみ申し上げます

安江	巴	82歳	(大明神)
安江	甲子夫	77歳	(大明神)
今井	正人	25歳	(大沢)
土井	金三	92歳	(陰地)
伊藤	政子	68歳	(栃山)
今井	源	81歳	(大沢)
村雲	行雄	68歳	(柏本)



職場アレコレ

新しいAETの紹介

今月は、本村のAET（英語指導助手）では7人目となるマンディ・ファンを紹介します。

「とてもいい所です。狭くもなく、広くもなく。ビルだらけの都会と違って、自然がたくさんあって、住みやすいです。人々もとても親切で、買い物にいつでも気軽に声をかけてくれるのでうれしいです。オーストラリアの山は、茶色いけど、村の山は緑がいっぱいなので、気に入っています」と、村の印象を話してくれるマンディは、ハイキングや旅行、写真、お菓子作りが趣味というオーストラリア・シドニー出身の26歳。

2学期より、村内小中学校の英語の授業で活躍中です。



今井宣之さん、優子さん夫妻

(曲坂)

今月は、六月に結婚式を挙げられた曲坂の今井宣之さん・優子さん夫妻を紹介します。二人の出会いが高校一年生の春で、入学した高校で同じクラスになり、席が隣り同士だったことを機に、交際がスタート。お互いの第一印象は「小さい人」「かわい子」と、衝撃的な出会いではなかったようですが、「学校」という接点と時間が二人の距離を確実に近づけていったようです。



現在、奥さんのお腹は大きく、十月には二世が誕生する予定で、「早く、我が子に会いたいです。ベビー用品は、ほぼ揃えたし、名前も決めてあるんです」と、二世誕生を待ちかねているご主人に、奥さんは「本当に親バカ。でも、私も楽しみ♪」とニコリ。「家族が増えたら、皆で色々な所へ遊びに行きたいし、家族と一緒に居られる時間を大切にしたい」と話される今井さん一家でした。

ちよつと、よつて

ほっとアングル

7月30日から8月3日まで、名古屋市千種区にあるゾーン・ギャラリー

で『戀戀祭』という芸術作品の展示会が開かれ、その中で、本村の目玉イベント「つちのこフェスタ'03」に係る写真などの展示も行われました。これは、今年のフェスタに参加いただいたサークル“昭和区剣道部”が主催したもので、会場の一画では『幻の生物・ちのこを探せ』とのテーマで、本村のフェスタの様子もPRされていました。



よい くーション

今月のおすすりめ



『ネズミの時計屋さんハーマックスの恋と冒険』

マイケル・ホーイ 著

ネズミの時計職人ハーマックスは平凡ながら充実した生活を愛する独身主義者。ある日、壊れた懐中時計を持ち込んだ女飛行士リンカに、すっかり心を奪われてしまう。しかし、いつまでたっても時計を取りにこない彼女。名刺を頼りに訪れた部屋はひどく荒らされていた。事件には不老の秘薬「月の樹」をめぐる陰謀が…。ハーマックスの恋と時間の大冒険！

日赤東白川村分区からお知らせ

今年度、皆様からお預かりしました社費は、日本赤十字社岐阜県支部へ送金しました。この社費は、日赤の災害救護や国際活動をはじめ、献血、医療、日赤奉仕団活動などにも助成されています。日赤社費の納入にご協力いただき、ありがとうございました。

個人社費＝658,000円

法人社費＝170,000円

合計＝828,000円

ジャンボ宝くじの賞金
1等・前後賞合わせて
2億円

1等…1億5,000万円、前後賞…各2,500万円、
2等…1,000万円

▼発売期間は、9月25日から10月10日まで。

▼抽選日は、10月15日です。

※この宝くじの収益金は市町村の明るい街づくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

10月は

仕事と家庭を考える月間

男性を含めた全ての労働者が、仕事時間と生活時間のバランスのとれた多様な働き方のできる雇用環境の整備について社会全体で取り組ましましょう。

全国的なデータでは…

- ①育児休業目標取得率…男性10% 女性80%
- ②小学校就学の始期までの勤務時間短縮等の措置の導入率…25%
- ③子のための看護休暇制度の導入…25%

赤い羽根共同募金



10月1日から12月31日まで、“地域の福祉、みんなで参加”をスローガンに、全国で赤い羽根共同募金運動が展開されます。みなさまのご協力をお願いします。

市町村合併 あれこれ

『加茂地域のまちづくりに関する意見交換会（各種団体ヒアリング）』が8月7日、本村で行われました。これは、美濃加茂市、加茂郡町村の現状や将来への要望などの地域の方の“生の声”を聞き、加茂地域のまちづくりに生かそうと、美濃加茂市・加茂郡町村合併協議会が主催したもので、関係する8市町村において7月29日から8月11日にかけて実施されました。

本村では、村内の各種団体代表者ら18人が、協議会事務局職員に対し、本村に住んで誇りに思うことや新市まちづくりへの要望などの提言。「東白川は自然が豊かなので、合併しても、この自然を活かせるまちづくりをしてほしい」「白川高校が統合で廃校になると、村から通学できる高校が無くなり、美濃加茂方面の高校へ進学することになる。何らかの対応を期待したい」「村民は合併による急激な変化は望んでいない。時間をかけたまちづくりをしてほしい」など、活発な意見が飛び交っていました。



公証人・司法書士・行政書士による無料相談をご利用ください

合同 無料 相談

【日時】平成15年10月5日(日)

午前10時から午後4時まで

【場所】可児市福祉センター 2階視聴覚室

Tel.0574-62-1555

【内容】公正証書による遺言・賃貸借・金銭消費貸借などの契約／不動産・商業・法人登記、供託手続、法律相談／農地法、建設業法、風俗営業法その他官公庁提出書類作成など

ありがとうございました

御寄付(8/31現在)

(敬称略)

【越原保育園】

野菜＝安江永吉(陰地)

野菜＝安江浩(大明神)

【社会福祉事業指定】

金20万円＝村雲由喜(愛知県)

金5万円＝安江喜代人(愛知県)

金5万円＝土井秀男(陰地)

【社会福祉協議会】

清拭布・古切手＝安江峰子(平)

古布＝河田あや子(西洞)

古切手＝曾我自動車

金10万円＝安江とよ子(大明神)

金5万円＝土井秀男(陰地)

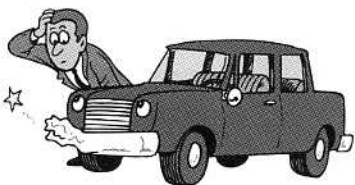
金6,154円＝匿名

【その他一般】

金9万805円＝

桂川眞郷氏叙勲授章祝賀会実行委員会

10月は、 自動車 点検整備 強化月間



日常点検や定期点検を、きちんと行っていますか？車の部品は、走行距離や時間の経過に伴って劣化・磨耗していきます。大切なのは日ごろの細やかな点検、それだけで運転中のトラブルの多くは回避できるのですから。車の注がれる愛情は、車だけでなく人の命や環境も守ることにつながります。反省する前に…、今なら間に合います。《中部運輸局岐阜運輸支局》

パソコンメーカーなどによる
家庭系パソコンの
回収・リサイクルが
平成15年10月
から始まります



【PCリサイクルマークが付いている場合】

平成15年10月1日以降に販売されている家庭系パソコンには、上記のマークが付いています。そのパソコンを処理する場合は、メーカーに引き取り義務がありますので、メーカーに連絡をして適正にリサイクルしてください。

【PCリサイクルマークが付いていない場合】

マークの付いていないパソコンについては、当分の間、今までどおり不燃ゴミとして集積場に排出することができます。可茂地域2市9町村では、ささゆりクリーンパークに搬送され、リサイクル処理されます。

問合せ先：役場 環境課・生活環境係(有2145)



今夏、本村の保健センターに助産学の実習に訪れた学生3人から、ステキな手紙をいただきましたので、紹介しましょう。

地域での助産師、保健師の役割を理解することができました。健診時、学生のぎこちない手つきにドキドキされたと思いますが、心良く受け入れていただき、ありがとうございました。

家庭訪問で元気にスクスク育っている赤ちゃんを見て生命のたくましさを感じました。

母子健康センターは、アットホームな雰囲気地域に密着し、多くの方々から愛され、親しまれていることを実感しました。

地元の皆さんから親しまれ、信頼されている野村助産師さんのようなステキな助産師になれるよう、これからもがんばりたいと思います。

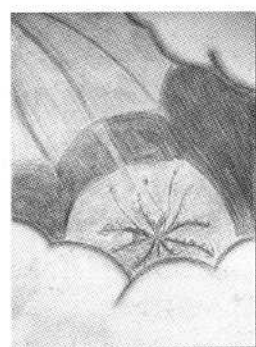
いたらない学生3人娘(?)でしたが、本当にありがとうございました。

岐阜県医療技術短期大学 専攻科助産学専攻
金子恵／吉岡麻衣／和田京子



安江ゆかりさん
(柏本)

東白川中学校3年生
「メッセージとしての美術」



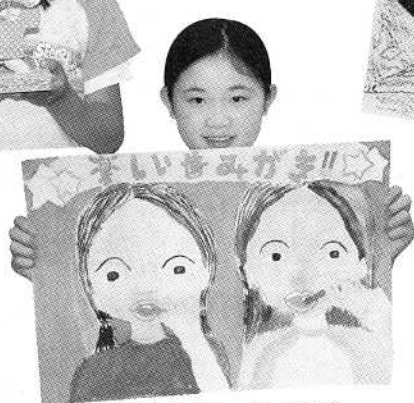
安江由衣さん
(柏本)

花画作品展



島倉由起子さん
(平)

東白川小学校6年生
◀「未来に生きる私」
▼「歯のポスター」



安江身衣さん (大明神)



安江陸くん
(下親田)

みつば保育園
「クワガタムシ」



古田総一郎くん
(上親田)

短歌



目覚めては出で来て橋の南北を只管歩き今日をもくろむ
安江守平

勇気出しガラクタ捨てし雨の朝未練を捨てて心すつきり
安江嘉子

「キュッキュツ」と言はせて茶碗を洗えよと教えし祖母を憶ふ命日
田口かずみ

年経れど今だ忘れぬ恐ろしさ岐阜空襲のあの夜のこと
荻田清美

道沿いに紫陽花今が盛りなりテールランプはゆるゆると行く
樋口敬一郎

物置の奥に仕舞いし大火鉢五十年経ちてメダカの住み処
古田緑

本読みてそのままうたた寝していしを知人の声に驚きて覚む
安江節子

若夏に左手首を骨折し人の痛みを思うこのごろ
荻田良香

蛍火の一人となりて六年の今だ変らぬあわき光よ
早瀬久子

夏草の茂るにまかす夫病みてよりなるがまま術なくわれは
安江龍玉

遙かなる戦野に捨てし青春を悔むも二度と還らぬものを
安江嘉久一

雨ばかり記憶に残る七月をつばめの親子旅立ちてゆきぬ
小林道子

帰り来て眠らむとするわが脳に乱れ舞うなりホタルのひかり
今井光彦

芽吹ききたる豆を荒らして羽一枚証拠と残し鳩は何処に
安江澄

夫逝きて幾度通る墓地の道ことしは雉子の親子に逢えず
安江とくよ

平凡は日々経ることを有難きと自らも又子等にを思う
今井米子

※皆様の作品をお寄せ下さい。ご投稿は毎月二十日まで
越原・安江嘉久一宛にお出し下さい。

人口の動き

— 8月末住民登録人口から —

世帯数	907世帯
人口	3,103人
転入	5人
転出	3人
出生	3人
死亡	7人

先月と比較して 2人減
昨年と比較して 2人増

こぼれ話

▼低温と長雨が続き冷夏に見舞われた今年の日本列島
▼「夏は涼しい方が快適に過ごせる」とも思える今年の夏だが、世の中それほど単純ではないようだ▼例えば「暑さ」を利益に見込んだ海水浴場やビアガーデン、一定の日照が必要不可欠な農作物の栽培農家などには、既に多大なダメージを与えている▼冷夏。その言葉の響きは暗い：▼しかし、本村には、今年の夏を満喫しようとする者もいる。表紙の子どもたちだ▼川の水量と天候を見計らっては、仲間と共に川に姿を現し、自由自在に泳ぎ回る▼彼らのことを敬意を込めて『河童』と呼びたい。この村から、その姿が消えないことを期待しつつ：(J)